



## 「過去に目を閉ざすものは未来にも盲目となる」

### 開催！第19回知多平和学習会

#### 河村市長の南京虐殺否定発言は誤り

##### 日中友好協会・鳥居氏による講演

7月1日(日)「河村市長の南京虐殺否定発言は誤り」―侵略戦争の正当化は許されない―を演題として、第19回知多平和学習会が開催されました。講師は日中友好協会副会長で大名名誉教授の鳥居達夫氏。

鳥居氏は終戦直前まで万里の長城の外側、現在の河北省で暮らした方で、ソ連軍侵攻による満州引き揚げの逃避行は、当時10歳の鳥居さんを頭に乳飲み子の弟まできようだい6人と母との決死の旅だったと言います。

##### 「いづゆる南京事件はなかった」

……という信念の市長!!

名古屋市長河村たかし氏は、この2月、訪れた南京市の幹部に向けて、南京虐殺を否定する発言をし、世論の批判を浴びました。その後、市議会での質問に対しても「南京大虐殺がなかったというは」私の信念であり、撤回しない。」と答弁しています。また記者会見においても、「30万人(の虐殺)はなかった」「戦闘行為の中で残念なことはあった」「犠牲者の数字については、いろんな意見があるので議論していきたい」と発言し、大規模な虐殺があったという認識を示していません。市長本人は「政府見解とは」と同じ考えと主張しますが、あ

#### 【南京虐殺についての日本政府見解】

日本政府としては、日本軍の南京入城(1937年)後、非戦闘員の殺害や略奪行為等があったことは否定できないと考えています。

しかしながら、被害者の具体的な人数については諸説あり、政府としてどれが正しい数かを認定することは困難であると考えています。

日本は、過去の一時期、植民地支配と侵略により、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えたことを率直に認識し、痛切な反省と心からのお詫びの気持ちを常に心に刻みつつ、戦争を二度と繰り返さず、平和国家としての道を歩んでいく決意です。

さらに政府見解とは違う認識です。日中共同研究では、虐殺の犠牲者数について中国側は30万人、日本側は20万人から10万人、4万人、2万5千人などとしています。

##### 報道されない「事実」たち

##### 毎週金曜夜首相官邸包囲デモ

空間的、時間的に隔たれば隔たるほど「事実」を認識するのは難しいものです。私たちは、地理的に遠くの出来事、歴史的に昔の出来事について、伝聞や記録によらなければ知ることはできません。

現代ではマスメディアがこの「伝聞」の重要な位置を占めています。何をどう報道するか報道しないかというところは、南京事件の1937年であつても今の2012年であつてもメディア側がすべてを握っています。

大飯原発再稼働以来、毎週金曜夜首相官邸デモが行われています。6月22日に4万5千人が集まったにも関わらず、新聞もテレビも全くこれを報道しませんでした。10万人を超えたという6月29日のデモはやっとな報道されましたが、メディアにより人数は大きく異なりました。4万人、10万人、20万人と、東京でリアルタイムに起きている事実です。この通りですから、75年前の南京の「事実」

を知る難しさは推して知るべしです。

##### 「大本営報道がもたらした惨禍

##### 今こそ「教育」がふんばるとき

橋下大阪市長に率いられる「平成維新の会」の活動が目立っています。大阪府と大阪市では職員基本条例、教育基本条例が成立しました。大阪の公務員は、業績を5段階で相対評価され、職務命令違反3回で免職です。大阪の学校の教育目標は、任期4年の首長が設定します。市民的自由を制限し、教育に介入する強権的統治手法、つまり戦前のような政治は、日本国憲法で否定したはずですが、それが今また復活しようとしている危機的状況が迫っているのです。

愛知でも河村名古屋市長・大村愛知県知事は、「維新の会」と連携を模索しており、同じ方向に政治を導こうとしていると言われている。

うとしていられると言われています。南京虐殺を認めず、「事実」を見ようという政治家が、教育目標を決めるといふオソロシさ。政治が教育に介入して作り出したのは、お国のために命を捨てる少国民でした。戦前の大本営発表を垂れ流した新聞は、柳条湖、盧溝橋、南京での戦勝を報じ、聖戦遂行を訴えました。

私たち教師は、児童・生徒に事実を教え、伝えなければならぬのであって、その最前線にいます。今のマスメディアに任せておいては、彼らは事実を知らない有権者になってしまうことでしょう。私たち教師こそ、事実に向けて、憲法に基づいて、信念をもって、教育に当たろうではありませんか。19回目となった今回の学習会が、自分たちにとっての平和を見直す場となり、行動のきっかけとなりました。

### 北から南から ～支部だより～

7月の最初の週に教頭が近寄ってきた。「教育評価のシート提出、先生が最後になりました。なるべく早く提出してください。」

忘れていたわけではないが、なかなか目標が決まらない。『一つは学習指導か学級経営で、もう一つは分掌経営ぐらいか…』などと学級や授業の最近の様子を思い浮かべながら目標を探る。頭の中では、達成できそうな目標・難しそうな目標の選別が無意識に行われる。そんなときに、別の会話が耳に入ってきた。「いつも仕事が遅い〇〇先生もシートを提出したねえ。でも、一つはもう達成できているけどね。」思わず心の中で、それありですか、と尋ねる。



この出来事は、教育評価制度の問題点が、試行を続けている間に既に表面化してきていることを示す。目標のマンネリ化、低い目標を立てて成果を上げたように見せかける…あれこれ…。評価の時期になると、目標を達成させるための無理な教育活動が行われることも予想される。教育評価の結果が給与に関わるようになれば、人目を引くような目立った教育活動はするが、時間がかかり成果が見えにくい校務分掌は敬遠されるだろう。他の先生への協力・後進の指導より自分の手柄を優先する風潮も懸念される。

評価をする側が、公正な評価ができるかどうか問題視されている。今後、校長面談があるが何を元にして評価をしていくのかを確認したい。(A)



体育館での集会のため我がクラスが入場したとき、先に待つ他クラスはおしゃべりなど好き放題の様子。「周りに合わせるんじゃない。この場での正しい行動に自分を合わせるべきだ。」いつも事前に指導しておく。年度初めに学級に叩き込む内容の一つだ。

▼「みんながしている」と判断が鈍る。いいのかな?と思いつつも誘惑に負けそうになる。あるいは何も考えないまま流されていることさえある。でも例えそうであっても、たとえ悪いのは君だ。君の行動の責任者は君自身だ。流されていると大切なものを失うようになるぞ。」のような話をする▼さて自分自身を振り返ったとき、周囲がYESと言ったとしても、その論調に自分の基準を置かず、理性で見極め、間違っていると判断した場合には自分ただ一人であつてもNOとちゃんと伝えるだろうか。いや、言わなくては。教育者として。例えばそれが言いにくいことや相手、状況であつたとしても。誤った流れに飲み込まれ、便乗し、無責任に言動する親、教員、人間であつては、我が子をはじめ、子どもたちに示しがつかない▼最近の報道、そして学校現場を見ていると、数の原理に押され、冷静で公正な意見ですら言いにくい状況が拡大しているように感じる。しかし大人が示して見せられないことを、どうして子どもに教えられようか。そしてこれは、教員だけでなく、大人社会全体が示している。かなければならないことだとも思う。(M)

## データで見る『教員の実態』第28回 『48%と74%』

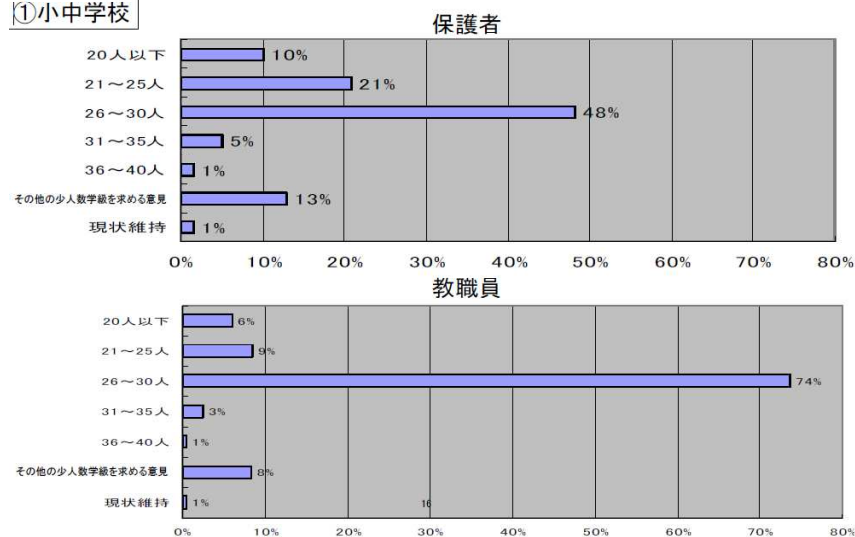
今回は、文部科学省が平成22年に国民から意見募集したときに出された適正学級規模についての数字です。

見出しの数字は、26人～30人の学級を希望する保護者と教員の割合です。表から保護者の方が教員よりも少人数の学級を希望していることがわかります。現状維持を希望するという意見は非常に少数です。教員の方が遠慮がちです。現在進んでいる35人学級ではなく、私たちが全国署名で訴えている30人学級こそ、現在の保護者の願いであることが、このアンケートから見てとれます。

### <望ましい学級規模（小中学校）>（属性別）

○教職員と比べて、保護者の方がより小規模の学級を望む傾向がある。

#### ①小中学校



## 知ってるつもり・Q&A

### 家族休暇の種類は？

**Q** 夏休みの動向表を記入する際、「家族休暇の夏季休暇は6日取得できます」という話がありました。家族休暇というのは、夏季以外にもあるのですか。

**A** 家族休暇は愛知県条例の『特別休暇』の一つになります。その中で、家族休暇は下記のような種類があり、合計9日の取得が認められています。

#### ① 夏季休暇

夏季において元気回復や家庭生活の充実をはかるためのものです。その名の通り、6月15日から9月30日までに6日間取ります

#### ② 授業参観等

子どもが義務教育年齢までの場合は、在籍する学校や園の授業(保育)参観、懇談会、学校行事、進路説明会などに1日まで取得できます。また、高等学校以上に進学した場合は、入学式や個人懇談会などで取得できます。

#### ③ 家族看護

三等親以内の親族の看護が必要な際に取得できます。4日以上以上の介護が必要な場合は、この休暇を3日取得後に、『介護休暇』をとることができます。

この他に、子の予防接種や健診、忌引(通常の忌引に日数を上乗せできます)などの休暇もあります。家族休暇を有効に活用しましょう。また、以前は認められていた、運転免許更新更新や結婚に伴う社会的慣習を処理するための休暇は、平成23年度から廃止されました。わたしたちの獲得してきた休暇をこれ以上の縮小させない闘いが必要です。



## まもなくロンドンオリンピック開幕 オリンピックびっくい列伝

この機関紙がお手元にとどくころは、ロンドンオリンピックの開会の頃かと思います。オリンピックは、肥大化、商業主義、勝利至上主義等さまざまな問題を抱えています。今回は、授業や雑談のネタになるオリンピックメダリストのびっくりするようなお話を紹介します。題して「オリンピックメダリストびっくり列伝」。

### その1 金メダリストは氏名不詳

これは、1900年パリ大会のお話。ボート、舵つきフォアのオランダチームは、重量を軽くするため、会場にいた男の子をボートに乗せてコックス(舵取り係)をさせることを思いつきました。なんとものんびりした時代でオリンピック委員会もこれを認めてしまったそうです。

この、オランダチームは優勝、男の子にもメダルが認められましたが、この子は会場から姿を消してしまいました。記録は、「7～10歳の男の子・氏名不詳」だそうです。この子は自分が金メダリストだとは知らないまま、生涯を過ごしたと思われる。

### その2 肝臓を移植されて銅メダル

アメリカのスノーボード選手、クリス・クルーグは、肝臓疾患をか抱えながら長野オリンピックに参加しました。その後、病気の悪化で、肝臓の移植手術を受け、競技に復帰。2002年のソルトレイクオリンピックのアメリカ代表に選ばれます。臓器移植者として初めてのオリンピック選手になり、なんと銅メダルを獲得してしまいます。その後、臓器移植財団を設立し臓器移植者の支援活動を続けています。

また、北京オリンピック自転車競技日本代表の宮沢<sup>たかし</sup>崇史さんは、自らの肝臓の一部を母親に提供した後にオリンピックに出場しています。

臓器を提供したり提供をされたりした人たちがオリンピックで活躍する

のですから、医学の進歩に改めて驚かされます。

### その3 ああ上野駅 金メダルを置き忘れ

これぞ究極のびっくり人。1988年のソウルオリンピックレスリング競技で金メダルに輝いた小林孝至さん。金メダルを故郷のお母さんに見せようと帰省中の10月29日深夜、上野駅の公衆電話にカバンごと金メダルを置き忘れてしまった。メダルは、拾われて無事に小林さんの手元にもどったが、小林さんを知る人たちは「彼ならメダルくらい置き忘れそう」と口をそろえたという。この話は後日談があり、この事件をきっかけに小林さんは一躍人気者になり、営業の仕事も快調でテレビへも頻繁に出演。その番組を見ていた女性と交際が深まり結婚されました。めでたしめでたし。

### その4 めがせ金メダル オスカー・ピストリウス

この選手の話は、2年ほど前にこのコーナーで取り上げました。オスカー・ピストリウスは、ロンドンオリンピック男子400m×4リレーの南アフリカ代表選手。この選手は、両足の膝から下が義足ながらオリンピック参加の標準記録を突破。ロンドンオリンピックでは、男子400mと400m×4リレーに出場する予定です。多くの人に感動を与えてくれることでしょう。



